

レジメン登録申請書

診療科	血液内科	申請医師	提出日	2021年 6月 1日
レジメン名称	DBd			
対象疾患・ステージ等	再発・難治性多発性骨髄腫			
適応の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 保険適応あり <input type="checkbox"/> 保険適応なし			
入院実施による算定方法	<input type="checkbox"/> DPC包括対象 <input checked="" type="checkbox"/> DPC包括対象外（出来高算定） （薬剤師が診療情報士に確認する）			
本治療の位置づけ	レナリドミド等の免疫調節薬またはボルテゾミブベースの治療後の再発・難治性と判断される多発性骨髄腫患者に使用する。			
使用予定日	2021年6月上旬頃			

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール													
						1日目	2日目	4日目	5日目	8日目	9日目	11日目	12日目	15日目	21日目	週目	週目		
	Rp1	デキサメタゾン	20mg*3	朝食後*1	p.o	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
						1～8サイクル													
						●*2													
	9サイクル目以降																		
	Rp2	ダラツムマブ	1800mg	3～5分	s.c	●				●				●					
						1～3サイクル													
						●*2													
	4サイクル目以降																		
	Rp3	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		s.c	●		●		●		●							
						1～8サイクル													
*1 ダラツムマブ投与日はダラツムマブ投与1～3時間前に内服 *2 9サイクル目以降はダラツムマブ、デキサメタゾンのみday1投与で4週サイクル *3 75歳を超えるまたはBMI: 18.5kg/m ² 未満の患者にはデキサメタゾンを20mg/週で投与する。																			
総投与時間 3～5分+α																			
血管外漏出時のリスク																			
(備考) 調製時・投与時の注意点など ボルテゾミブ…溶解後は8時間以内に使用する。ボルテゾミブとボルテゾミブの投与は少なくとも72時間以上あけて投与する。 ダラツムマブ…投与前に推奨される検査として、骨髄機能(血液検査)・肺機能(FEV1等)・輸血検査がある。																			

1サイクル期間	1～8サイクル:21日 9サイクル以降:28日
総コース数	PDまで
(併用薬) プレメディケーション	ダラツムマブ投与約1時間前に前投薬として、副腎皮質ステロイド(デキサメタゾン40mgまたは同等量の長時間型の代替ステロイド)・解熱鎮痛剤(静注または経口のアセトアミノフェン650～1000mg)・静注または経口の抗ヒスタミン剤(ジフェンヒドラミン25～50mgまたは同等品(プロメタジン静脈内投与以外))を投与する。 医師の判断で1コース1日目にモンテルカスト10mgまたは同等品を経口投与する。
(併用薬) ポストメディケーション	遅発性のinfusion reactionを軽減させるために必要に応じてダラツムマブ投与後に副腎皮質ホルモン等の経口投与を考慮する。 慢性閉そく性肺疾患または気管支喘息のある患者(既往を含む)は、ダラツムマブ投与後に気管支拡張薬・吸入ステロイド薬の投与を考慮する。